MICHINOKU ACADEMIA STARTUP PLATFORM
プラットフォーム名：みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム（MASP）

（2025年7月時点）

高校生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大に向けた取組

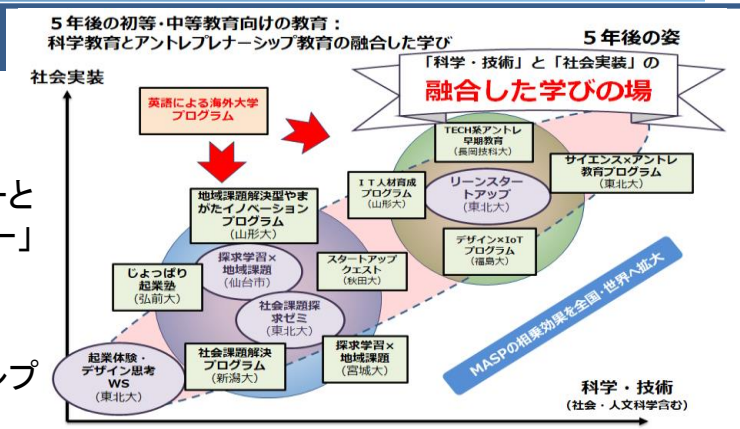
お問い合わせ先：東北大学スタートアップ事業化センター
info.innovation“AT”ml.tohoku.ac.jp（※“AT”部分を“@”に変えてください）

（1）高校生等へ提供するアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・運営

＜提供するプログラムの一例＞　右図はMASPの5年後の姿を示す。

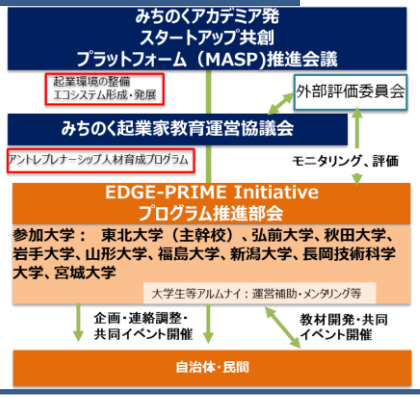
・「ロールモデル起業家プログラム（東北大学）」
　高校等を対象に、技術の社会実装に取組む起業家・研究者・大学発ベンチャーとそれを支えるサポーターのストーリを掲載した「みちのくイノベーターズ ライブラリー」を作成。これを活用したキャリア教育を実施する。

・「アントレプレナーシップ教育の「専門科」向けのカリキュラム開発（山形大）」
　高校と協働して、高校在学中に起業や海外インターンシップを経験できるアントレプレナーシップ教育を含む「新コース」のカリキュラム開発を実施する。



（2）持続的にプログラムを提供する体制の構築

　プログラム推進部会をベースに、参加機関は自治体や民間との連携・共創し、教育拡大に向けた取り組みを推進する。県教委や市教委と連携し、探求学習に係る好事例の共有の場を東北大学や他の共同機関との間に設ける。



（3）広報・イベント等の実施

　仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会ウェブサイト、MASPウェブサイト、SNS、メールマガジン等を通じた広報に加え、宮城県教育委員会および仙台市教育委員会を通じて各学校へチラシやポスターを配布し、プログラムの周知を行う。

（4）活動成果

MASPのプラットフォーム共通基盤事業として、高校生向けオンデマンド教材「みちのくイノベーターズ・ライブラリ」を開発・提供し、域内で延べ1,100名以上の生徒が受講した。また、小学生向けの「起業体験ワークショップ」を広域展開し、R6度は新たに2県で実施した。各大学による独自の取り組みとしては、東北大学による「UC Berkeleyアントレスクール」（入学前の高校生を対象に海外大学でアントレプレナーシップを学ぶプログラム）、山形大学による高校教員向けアントレプレナーシップ指導者育成プログラム、福島大学による社会課題に主体的に取り組む高校生向けプログラムなど、それぞれの特色を活かした教育プログラムを開発・実施し受講生を拡張している。